

- I 単元名 郷土に伝わる願い
小単元名 水田に水を (全 11 時間予定の 7 時間目)

II 考察

1 児童の実態(在籍 男子 18 名、女子 13 名 計 31 名)

児童は、3 年での校区やスーパーマーケット、消防署などの見学、4 年での「住みよいくらしをささえる」で、清掃センターや浄水場の見学を通して、様々な事象に自らの目や耳、体を使って触れ、その体験を基に多くの資料を活用して、課題を追究する問題解決的な学習を進めてきた。このような活動を通して、児童は社会的事象に対する学びを深めてきた。また、低学年から郷土カルタ「太田市民憲章カルタ」に親しんできた経験から、郷土に伝わる様々な歴史的事象に触れる機会を多く得てきた。

これらの活動の中で、児童の多くは、見学や体験をしたり、自分の決めた課題について資料を基に調べたり、まとめたことを発表したりするなどの具体的な活動を好み、そこに楽しさや喜びを見いだしてきた。しかし、今まで経験できなかったことが体験できたり見学できたりすることや、パソコンが使えるなどの活動の特性や形態、方法などに対する楽しみが主となり、なぜ活動するのかという目的や動機は薄くなってしまっている。また、それぞれの社会的事象の意味や働きについては、大方の児童はとらえることができているが、それらの事象同士のかかわりや事象と自分たちの生活とのかかわりについてまで考えを深めることができている児童は少ない。さらに、児童は社会科の学習の中で歴史を学習する経験は今回が初めてである。そのため、郷土の歴史や地域の発展に尽くした人物について、深く学ぶ経験はほとんどなく、歴史的事象に対する理解も浅い。そのため、過去と現在の事象の関連や結び付き、先人が開発に込めた願いなどについて考えていくことは難しい。

問題解決的な学習を進めていく中で、事象に関心を寄せ、追究に意欲を見せながらも、調べ方やまとめ方に支援を要する児童が多い。多くの児童は、これまでの学習経験により、必要な資料を収集したり、選択したりする力は少しずつついてきている。しかし、それを十分生かしきれず、資料から読み取ったことを分かりやすくまとめたり、事象相互を比較して、事象相互のかかわりについて考えたりすることが不十分な児童の姿が見られる。

児童が、社会的事象のもつ意味や働きを追究していくには、資料から読み取ったことを調べる過程では比べ、分類したり、整理したりしていくこと、まとめる過程では事象相互をつなげたり、再構成したりしていくなどの活動を取り入れていくことが大切であるとする。資料から読み取った過去と現在の事象を比べたり、つなげたりする活動を通して、相互の関連に着目しながらそれらの意味するところを統合してとらえることができるようになる。そして、このような活動を繰り返していくことで、過去の事象や先人の思いと働きについて自分とのかかわりから考え、追究していく力を育てていけるものとする。

2 教材観

本単元は、学習指導要領の第 3 学年及び第 4 学年の内容(5)のウ「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」を受けて設定したものである。ここでは、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考える手掛かりとして、「岡登用水」を開いた岡上景能を具体的事例として取り上げた。

岡上景能は、江戸時代に代官として、荒地であった笠懸野一帯(笠懸町から太田市西部)を、農地として活用できる土地にし、地域の人々の暮らしを豊かなものにしようと考え、多くの苦労や障害を乗り越えて、用水路開発を行った人物である。現在、太田市内に存在する多くの用水は、広大な水田地帯に水を供給したり、工業用水などとして使用されていたりと、幅広く活用されている。しかし、市内の用水は河川と混同してとらえられていることが多い。一方、用水を開墾した岡上景能については現在ほとんど知られていない。そのため、新たな発見や驚きを伴いながら地域を見直し、地域の発展に貢献した人物の業績を理解させる上で、岡登用水と岡上景能は適した事例であると考えられる。

そこで本単元では、まず、市西部に広がる広大な水田地帯や岡登用水の取入口などの資料を基に、岡登用水や岡上景能にかかわる大まかな情報をつかませ、岡上景能の開発に寄せた願いを考えさせる。

次に、岡登用水開発当時の生活の様子や道具、技術などを取り上げ、岡上景能や当時の人々が強い信念のもとに、よりよい生活を求めて努力してきたことをとらえさせる。この際、調査活動を取り入れ、自分の目で確かめながら学んだり、当時の人々の苦心について触れたりすることで、地域の発展のために多くの人々が努力をしてきたことを実

感させることができると考える。

さらに、現在の岡登用水や自分たちの生活の様子を調べ、過去の事象と比較し、結び付きや関係を考える活動を取り入れることで、過去の事象も自分に身近なものであり、自分とかかわりのあるものとして先人の働きについて考えることができるようになると思う。

このような活動を通して、児童一人一人が、現在の地域の発展は、多くの人々の働きや苦心によって成り立っていることを、自分とかかわりから考えられるようになり、最終的には先人の働きや苦心についてより深く考える力が身に付くと考え、本単元を設定した。

Ⅲ 単元の目標

先人が地域の生活をよりよくしようとする願いを抱き、工夫や努力をしてきたことやそれらが今の私たちの生活にも生かされていることを理解し、そうした歴史の上に成り立っている自分たちの地域社会に対する誇りと愛情をもつ。

Ⅳ 単元の評価規準(略)

Ⅴ 指導方針

地域の発展に尽くした先人の働きや苦心を考える活動について、児童一人一人が関心を持ち、追究方法を考えたり、自分の目で確かめながら解決したりできるように、問題解決的な学習を行う。

また、先人の働きや苦心を自分とかかわりから考えることができるように、各過程において、地域マップに様々な情報を重ね合わせる活動を取り入れる。

地域マップに様々な情報を重ね合わせる活動とは、1枚の地図に現在と過去という時間的に異なる情報や距離的に異なる情報を話し合いながら重ね合わせていく活動である。地図上に重ね合わされた様々な情報は、内容が似ているものは、相互の距離が近くなる。一方、内容が異なるものは、相互の距離が遠くなる。児童は、地図上に重なり合った様々な情報の距離や内容を比べることで、様々な情報の特色や意味、類似点や相違点、結び付きなど多くのことに気付くことができる。このような活動を通して、児童は過去と現在の社会的事象は、互いに関連しあって成り立っていることについての理解を深められ、過去の事象は現在の生活と密接に結び付き、関連しあっていることが分かる。そして、先人の働きや苦心を自分とかかわりがあり、身近なものであると考えることができるようになることで、先人の働きや苦心をより深く考えられるようになると思う。

1 つかむ過程では

- 岡登用水や岡上景能に対して児童の意欲を喚起できるとともに、工事の困難さや地域の人々の思いなどがつかめられるような写真資料やVTR資料を用意する。
- 地域マップは、模造紙に岡登用水の取入口である大間々町から児童が生活する太田市までの範囲を表したものである。このマップには、情報を重ね合わせていく際に、児童が目印にしやすい主要な交通路や河川、山などを事前に記入しており、グループに1枚用意する。
- グループの人数は5～6名とし、各グループには話合いの進行やまとめができるような児童を意図的に配置しておく。
- 学習プリントは、学習の過程や進め方が見通せるとともに、振り返りができたり、児童が活動を進めていく上で意欲的に取り組めたりするものを用意する。
- 自分の考えを確認したり、友達の意見を参考にして考えを深めたりできるように、様々な発表の場を設ける。
- なるべくたくさんの資料を収集できるように、追究する課題は同じグループの中で重複しないように話し合いながら課題を選択するように促す。

2 追究する過程では

- 岡登用水及び岡上景能という事例の特性上、児童が追究活動を進めていく際、自力で資料収集することに困難を伴うと予想されるため、事前に課題解決に適した資料を用意しておき、状況に応じて提示していく。
- 児童が調べていく過程で出てくる、意味の分からない言葉や新たな疑問については可能な限り追究させ、解決させるようにする。
- グループ内で追究する課題が異なるため、調べ学習はグループを離れて個別で行わせる。個々で追究していくことで、課題を解決するために必要な資料を収集し、必要な情報を選択する力を伸ばすことができると考える。しかし、活動の活性化が図れるように他グループの似たような課題を追究している児童と協力して取り組んで構わない

ことを伝える。

- 毎時間、児童を元のグループに戻し、情報の共有化を図るとともに、活動の進み具合の報告を行えるような、一時間の活動結果について発表する時間を設ける。
- 個々の考えを深められるように、情報を重ね合わせたり、事象の特徴や事象相互の関連性などを考えさせたりする場面では、グループでの話し合い活動を取り入れる。また、話し合った結果は全体で発表する機会を設けることで、多様な考えに触れさせ、考えの広がりが図れるようにする。
- 今回の学習は、児童にとって初めて経験する活動が多く含まれる。また、調べ学習で資料を探し出すのに多くの時間が必要になると予想される。そこで、効率的に学習が進められるように学習プリントに学習の流れを書いたり、進め方のヒントとなる補助プリントを用意したりする。

3 深める過程では

- 現在の事象について追究していく際には、今までに調べたことをふくませながら、自分たちの地域や自分たちの生活とのかかわりに着目しながら調べ活動を行うよう伝える。
- 調べたことは、地域マップへの重ね直しができるように付せんにとめるように伝える。また、過去と現在の事象の区別が容易にできるように、追究する場面で用いた付せんとは色を変える。そして、まとめる際には、「見やすく、分かりやすく」なることを意識しながらまとめるよう伝える。
- 地域マップにはられた情報の距離から、過去と現在の事象の関係や、相互の結び付きをとらえさせたい。
- 個々の考えを深められるように、情報を重ね合わせたり、事象の特徴や事象相互の関連性などを考えたりする場面では、グループでの話し合い活動を取り入れる。また、児童の考えを広げられるように、グループで話し合った結果は全体で発表する機会を設ける。
- 学習で用いたプリントや資料はファイリングし、いつでも見直しができるようにするとともに、地域マップは教室に掲示し、児童が過去と現在の結び付きや関係を考えていく際のヒントとなるようにする。

VI 指導計画(略)

VII 本時の学習

(第1時)

1 ねらい

地域マップに岡登用水と岡上景能にかかわる情報を重ね合わせ、岡登用水と岡上景能の概要が分かる。

2 準備

- 教師：岡登用水と岡上景能に関する VTR、掲示用地域マップ、児童用地域マップ、用水開発前の水の入手方法図、岡上景能像の写真、市西部に広がる水田地帯の写真、油性ペン

3 展開

進	時間	学習活動	支援及び留意点	評価項目(評価方法)
	8分	1 現在の水田地帯の写真と用水開発前の水の入手方法の図を見て、このような変化をもたらした背景について考え、発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">2枚の写真を見て、水が得にくいこの地域に、どうして水田が作られるようになったか考えよう</div>	<ul style="list-style-type: none">○ 自分たちの生活に身近な内容であることをとらえられるように、水田の写真は隣接学校区のものを持示する。○ 過去の水を得るための苦労の様子(まいまい井戸)と現在の豊かな水田風景と、両者の違いが児童にも明確となる資料を用意し、掲示する。○ 現在と過去の地域の様子から、その違いをもたらした要因を考えられるよう、資料の提示の仕方を工夫する。○ 校区内を流れる聖川、蛇川も用水であることを知らせることで、児童の関心を高める。	

つかむ	12分	2 VTR や写真資料を見て、岡上景能と岡登用水について知る。	○ VTR や写真資料は、岡登用水と岡上景能の働きについての概要がつかめるように編集したものを用意する。	理 岡登用水と岡上景能について概要が分かる。(発表・観察)
	25分	3 地域マップの使い方を知る。 4 岡上景能や岡登用水にかかわる情報を地域マップにはりつけたり、記入したりする。	○ あらかじめ本時にかかわる情報がはりつけてある掲示用地域マップで、地域マップの表し方や使い方を分かりやすく説明する。 ○ 地域マップは、児童が活動する際に目印となるよう、主要な交通路や河川、山などが記されたものを用意する。 ○ グループの人数は6名程度とし、各グループには、話合いの進行やまとめができるような児童を意図的に配置する。 ○ ここでの情報は学習を進めていく上で基礎となるものなので、名称などは地域マップに直接油性ペンで記入するよう伝える。 ○ ここで地域マップにはりつける情報は、児童が今後活動を進めていく上で参考になったり、意欲がもてたりするように、写真資料を用意する。	資 地域マップの使い方が分かり、必要な情報をはりつけることができる。(地域マップ)

(第2時:見通し1にかかわる授業)

1 ねらい

岡上景能の用水開発に込めた願いを予想し、岡登用水や岡上景能について調べていこうとする課題をもつことができる。

2 準備

- 教師：掲示用地域マップ、学習プリント、岡上景能像の写真、用水取入口の写真、用水開発当時の道具、用水開発前の水の入手方法図、市西部に広がる水田地帯の写真
- 児童：地域マップ、学習ファイル

3 展開

進	時間	学習活動	支援及び留意点	評価項目 (評価方法)
	5分	1 前時を振り返り、本時は岡上景能や岡登用水について調べる課題を決めることを知る。	○ 前時の内容を想起しやすくするため、前時に使用した写真や図などの資料は再度掲示する。	
	20分	2 前時の学習を振り返り、学習プリントに岡上景能がどのような願いを込めて用水開発を進めていったのかを予想し記入する <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 岡上景能はどのような思いで用水を開発したのでしょうか </div> 〈予想される反応〉 ・ 人々の生活を楽にしたい。 ・ お米がたくさん取れるようにしたい。 ・ 豊かな村にしたい。	○ 岡上景能の願いを考え、自分なりの言葉で記述できるように、地域マップや掲示資料を見直す活動を設ける。 ○ 予想に戸惑っている児童には、工事の困難さや岡上景能に対して地域の人々がどのように思っていたのかを想起し、考えられるように、岡上景能をまつた神社や溪谷に造られた取入口の様子の資料を提示する。 ○ 学習プリントは、学習の過程や学習の進め方が分かるとともに、振り返りができるものを用意する。	思 岡上景能が用水開発に込めた願いを予想し、自分なりの言葉で表すことができる。 (学習プリント・観察)

つかむ		3 グループで、岡上景能の願いについての予想を発表しあう。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習プリントには、児童の意欲が高められたり、学習を進める手掛かりとなったりするコメントを書き加える。 ○ 互いの予想や考えを聞き合い、課題を決める際の参考にできるように、グループ内での発表の場を設ける。 	
	20分	4 自分の調べていこうとする課題を決め、学習プリントに記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">岡登用水や岡上景能について調べてみたいことを決めましょう</div> 〈予想される反応〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 道具について調べる。 ・ 生活の様子について調べる。 ・ 岡上景能について調べる。 ・ どんな工事をしてきたのか調べる。 ・ どうして神社ができたのか調べる。 ・ 用水ができて便利になったことについて調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 追究していこうとする課題を考える際には、前時に作成した地域マップにある情報や自ら予想した岡上景能の願いを基に考えるよう伝える。 ○ なるべく多くの資料を収集させたいので、課題を決める場面では、同一グループ内で追究する課題が重ならないように話し合い活動を取り入れる。 ○ 課題を決めるときの参考になるよう、当時、用水工事で使用していたのと同様の道具を用意し、提示する。 ○ 学習課題が決まった児童には、どのような方法で追究していけば解決可能なかを考えるよう促す。 ○ 課題がなかなか決まらない児童には、もう一度地域マップや掲示資料を確認させながら、助言を与える。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 関 自分が追究していこうとする課題を決めることができる。 (学習プリント、観察) </div>

(第3時)

1 ねらい

自ら設定した課題に基づいて、岡登用水の開発や岡上景能の働きについて、資料を活用して追究する。

2 準備

○教師：岡上景能及び岡登用水に関する資料、まんが「岡上景能公」、油性ペン、サイト一覧表

○児童：学習プリント、副読本、岡上景能及び岡登用水に関する資料、色鉛筆、学習ファイル

3 展開

誰	時間	学習活動	支援及び留意点	評価項目 (評価方法)
つかむ	5分	1 自らの学習課題を確認し、本時の調べる内容及び計画を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習プリントを基に、本時の活動の内容を確認し、計画的に追究活動が行えるようにする。 	
追究する	30分	2 自らの課題に基づいて、資料を収集したり、選別したりして、課題追究を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">岡登用水や岡上景能について調べましょう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童には、事前に岡登用水や岡上景能についての資料をできるだけ準備しておくように促す。 ○ 各自の調べる課題はそれぞれ異なるため、グループから離れ個別に追究するよう伝える。しかし、作業の効率化を図るため、他グループで似たような課題を追究している児童とは、協力して取り組むように伝える。 ○ 今回の事例の特性上、資料の収集に困難が伴うと予想されるため、事前に個々の課題に応じた資料を用意しておき、状況に即して提示し、追究活動が潤滑に行 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 関 自分の学習課題について進んで調べようとしている。 (観察・学習プリント) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 資 様々な資料を効果的に活用し、課題解決に向けて、調べることができ </div>

			<p>えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 追究活動を行う場所は、教室、コンピュータ室、図書室とする。その際、個々の児童の活動場所を把握しておき、効率的に支援できるようにする。 ○ コンピュータを活用して調べる児童に対しては、教師が事前に検索しておいた今回の活動に関するサイト一覧表を配布し、そこから調べる活動を進めることで、検索時間の短縮を図る。 ○ まとめのときに活用できるように、調べて分かったことは学習プリントにメモ書きしておくよう伝える。 	<p>る。 (観察・学習プリント)</p>
ま と め る	10 分	3 元のグループに戻り、本時の活動の結果を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個々の活動計画のチェックをグループ内で行えるように、元のグループに戻り、本時どこまで調べたかを報告する時間を設ける。 ○ 友達の発表を聞いて、自分の調べ活動に取り入れられることは、積極的に取り入れるよう助言する。 ○ 資料が見つからず、活動が遅れがちな児童の参考にできるように、調べる際にどのような資料を活用したのかについても発表するよう促す。 	

(第4時)

1 ねらい

自ら設定した課題に基づいて、岡登用水の開発や岡上景能の働きについて、資料を活用して追究する。

2 準備

○教師：岡上景能及び岡登用水に関する資料、まんが「岡上景能公」、油性ペン

○児童：学習プリント、副読本、岡上景能及び岡登用水に関する資料、色鉛筆、学習ファイル、サイト一覧表

3 展開

進	時間	学習活動	支援及び留意点	評価項目 (評価方法)
つ か む	5 分	1 前時までの活動内容を確認し、本時の調べる内容及び計画を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習プリントを基に、前時の振り返りと本時の活動内容を確認することで、計画的に追究活動が行えるようにする。 ○ 事前に各自の学習プリントの記述内容を確認し、追究活動が遅れがちな児童に対して、資料を提示したり、効果的な調べ方を伝えたりすることで活動の活性化を図る。 	
		2 自らの課題に基づいて、資料を収集したり、選別したりして、課題追究を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">岡登用水や岡上景能について調べましょう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の活動を受けて、本時に必要な資料をできるだけ自分でも準備しておくよう事前に伝えておく。 ○ 各自の学習プリントの記述を確認し、必要だと思われる資料は、教師側も用意しておき、追究活動が潤滑に行えるようにする。 	<p>関 自分の学習課題について進んで調べようとしている。 (観察・学習プリント)</p>

追究する	30分		<ul style="list-style-type: none"> ○ 追究活動を行う場所は、教室、コンピュータ室、図書室とする。その際、個々の児童の活動場所を把握しておき、効率的に支援できるようにする。 ○ コンピュータを活用して調べる児童に対しては、今回の活動に関係するサイトの一覧表を配布し、そこから調べる活動を進めることで、検索時間の短縮を図る。 ○ 調べて分かったことは学習プリントにメモ書きし、まとめの段階で活用するように伝えておく。 	資 様々な資料を効果的に活用し、課題解決に向けて、調べることができる。 (観察・学習プリント)
まとめる	10分	3元のグループに戻り、本時の活動の結果を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 元のグループに戻り、本時自らの課題について調べたことを報告し、活動計画のチェックをグループ内で行える時間を設ける。 ○ 友達の発表を聞いて、自分の調べ活動に取り入れられることは、積極的に取り入れるよう助言する。 ○ 調べる際にどのような資料を活用したのかについても発表することで、資料が見つからず、活動が遅れがちな児童への手助けとする。 	

(第5時)

1 ねらい

自ら設定した課題に基づいて、岡登用水の開発や岡上景能の働きについて、資料を活用して追究し、分かったことをまとめる。

2 準備

○教師：岡上景能及び岡登用水に関する資料、まんが「岡上景能公」、付せん、油性ペン

○児童：学習プリント、副読本、岡上景能及び岡登用水に関する資料、色鉛筆、学習ファイル

3 展開

難	時間	学習活動	支援及び留意点	評価項目 (評価方法)
つかむ	5分	1 前時までの活動内容を確認し、本時の調べる内容及び計画を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習プリントを基に、前時の振り返りと本時の活動内容を確認することで、計画的に追究活動が行えるようにする。 ○ 事前に各自の学習プリントの記述内容を確認し、追究活動が遅れがちな児童に対して、資料を提示したり、効果的な調べ方を伝えたりすることで、活動の活性化を図る。 	
追究する	35分	2 自らの課題に基づいて、資料を収集したり、選択したりして、課題追究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時はまとめ活動を主にするため、調べる活動は調べたことを整理したり、足りない部分を補ったりする程度にするよう話しておく。 ○ 事前に各自の学習プリントの記述内容を確認し、活動が効率的に進むように個々の状況に応じたコメントを書いて 	

		<p>3 追究した結果について、付せんにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>岡登用水や岡上景能について調べたことを見やすくまとめましょう</p> </div>	<p>おく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動場所は、原則として教室とし、どうしても必要な場合のみコンピュータ室、図書室を活用してもよいことを伝える。 ○ まとめには、はり直しが容易に行えるため、大判の付せんを使用する。 ○ 付せんには、学習プリントに書いてあることを中心にまとめるよう伝えておく。 ○ まとめる際には、重要な部分が分かりやすくなるように、強調したいところに色をつけるよう助言する。 ○ まとめ方は文章だけでなく、絵や表、グラフ、写真資料などを使うことで、視覚的に把握しやすい方法を助言する。 ○ 写真資料については、教師がスキャナーで取り込み、加工する。 	<p>資 調べた結果を、見やすく、分かりやすくまとめることができる。 (付せん)</p>
まとめ	5分	<p>4 グループで本時の活動の結果を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動計画のチェックをグループ内で行えるように、本時の活動の結果を発表する時間を設ける。 ○ まとめが完成しなかった児童には、次時までには仕上げておくよう伝える。 	

(第6時：見通し2にかかわる授業)

1 ねらい

地域マップに、調べて分かったことを、グループで内容を考えながらはりつけることができる。

2 準備

○教師：掲示用地域マップ、付せん、油性ペン

○児童：地域マップ、学習プリント、付せん、のり、学習ファイル

3 展開

難	時間	学習活動	支援及び留意点	評価項目 (評価方法)
つかむ	5分	<p>1 これまでの学習内容を振り返り、本時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時は、集めてきた情報を地域マップにそれぞれの内容を考えながらはりつけていくことを確認する。 ○ 事前に付せんへのまとめの記入状況を確認しておく。まとめが済んでいない児童には、本時までにはまとめが済むよう支援しておく。 	
追究する	35分	<p>2 地域マップへの情報のはりつけ方を知る。</p> <p>3 グループで情報の内容を考え</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域マップに情報をはりつける活動は初めてなので、掲示用地域マップを用いて、教師が実際に師範しながら、方法を分かりやすく説明する。 ○ 学習プリントにも、本時の活動の進め方を書いておき、いつでも児童が確認できるようにしておく。 ○ 調べた情報をはりつける際には、調べ 	<p>資 調べた情報につ</p>

		ながら、地域マップにそれぞれの情報をはりつける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">調べて分かったことを書かれている内容を考えながら地域マップにはりつけよう</div>	てきた情報の内容やどこの場所の内容なのかをしっかりと全員で吟味して、はる場所を考えるよう伝える。 ○ 用水の経路やため池の場所など調べた内容によっては、直接マップに油性ペンで書き込んでも構わないことを伝える。 ○ 児童の考えを深めるため、各グループを回り、その場所にはりつけた理由を質問する。	いて、話し合いながら地域マップにはりつけることができる。 (地域マップ、話し合い)
ま と め る	5 分	4 本時のまとめをし、次時の予告を聞く。	○ 情報の内容の理解を深めるため、一度はりつけた情報について、もう一度見直したり、訂正があればはり直したりするよう伝える。 ○ グループごとに地域マップへの情報のはりつけが終了したか確認しておく。 ○ 次時は作成した地域マップの情報を比べ、それぞれの情報の特性や意味などについて考えることを知らせる。	

(第7時:見通し2にかかわる授業) 本時

1 ねらい

地域マップにはられた情報の特性や意味、類似点や相違点などについて考え、岡上景能がよりよい暮らしを求めて努力してきたことが分かる。

2 準備

○教師：情報分類の仕方についての資料

○児童：地域マップ、学習プリント、のり、学習ファイル

3 展開

進	時間	学習活動	支援及び留意点	評価項目 (評価方法)
つ か む	5 分	1 本時の学習内容を知る。	○ 前時の活動を確認し、本時はグループではりつけた情報について話し合った後、発表することを確認する。	
追 究 す る	25 分	2 地域マップにはりつけた情報を比べて、グループで話し合っ て、岡登用水や岡上景能の特徴 について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">地域マップを見て、岡登用水や岡上景能について分かったことをまとめよう</div> 3 話し合いの結果分かったことを、学習プリントに記入する。	○ 補助プリント(情報の分類の仕方を例示した資料)を用意し、情報の分類の方法について説明する。 ○ 地域マップにはられた情報は、それぞれの距離に近いものほど内容が似ており、離れているものほど内容が異なることを確認する。 ○ 各グループを回り、考えが深まらないグループに対しては、地域マップに重ねられた情報を基に助言を与える。 ○ 情報を整理した結果から、岡上景能が人々の暮らしをよくするために努力してきたことをつかませたい。 ○ 全員の調べたことを取り入れながらまとめていくように促す。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">思</div> それぞれの情報の位置関係から、情報のもつ特性や意味、情報相互の類似点や相違点などについて考えることができる。 (発表、学習プリント) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">理</div> 岡上景能が人々の暮らしをよくす

			<ul style="list-style-type: none"> ○ グループで話し合った結果は、全員が学習プリントに書き込むように話しておく。 ○ 早くまとめが終わったグループは、発表の練習をするよう伝える。 	<p>るために努力してきたことが分かる。 (学習プリント)</p>
深める	15分	<p>4 話し合いの結果をグループごとに発表する。</p> <p>5 他のグループの発表を聞いて、自分たちの地域マップの見直しを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体で発表する場を設け、多様な考え方に触れることで、児童の思考の幅を広げたい。 ○ 発表はグループごととし、地域マップを使いながら説明させる。地域マップは、全員が見やすいように黒板に掲示するよう伝える。 ○ 他のグループの発表を聞いて参考になることは、進んで取り入れ、地域マップを見直すように促す。 ○ 最終的に見直しが終わった付せんは、糊付けをし、それぞれの情報の地域マップ上での位置の確定をするよう促す。 	

(第8時)

1 ねらい

自ら設定した課題に基づいて、現在の岡登用水や地域の様子などについて、資料を活用して追究する。

2 準備

- 教師：史跡パンフレット、岡上景能及び岡登用水に関する資料、まんが「岡上景能公」、油性ペン、サイト一覧表
- 児童：学習プリント、副読本、岡上景能及び岡登用水に関する資料、色鉛筆、学習ファイル

3 展開

難	時間	学習活動	支援及び留意点	評価項目 (評価方法)
つかむ	5分	1 自らの学習課題を確認し、本時の調べる内容及び計画を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時まで追究してきた内容をふくらませて、現在の岡登用水や地域の様子などについて追究することを知らせる。 	
追究する	30分	<p>2 自らの課題に基づいて、資料を収集したり、選択したりして、課題追究を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>現在の岡登用水や地域の様子などについて調べよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に自分の課題解決に役立つような資料をできるだけ準備しておくように促す。 ○ 事例の特性上、資料収集に困難が伴うと考えられるため、教師も資料を用意しておき、追究活動が潤滑に行えるようにする。 ○ 各自の追究する課題はそれぞれ異なるため、調べ活動は個別に行う。しかし、効率的に活動が行えるよう、他グループで似たような課題を選択した児童とは協力して活動するよう伝える。 ○ 追究活動を行う場所は、教室、コンピュータ室、図書室とする。その際、個々の児童の活動場所を把握しておき、効率的に支援ができるようにしておく。 ○ コンピュータを活用して調べる児童には、今回の活動に関係するサイト一覧 	<p>関 自分の学習課題について進んで調べようとしている。 (観察・学習プリント)</p> <p>資 様々な資料を効果的に活用し、課題解決に向けて、調べることができる。 (観察・学習プリント)</p>

			<p>表を配布し、そこから調べる活動を進めることで、検索時間の短縮を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べて分かったことは学習プリントにメモ書きし、まとめの段階で活用するように伝える。 	
ま と め る	10 分	3 元のグループに戻り、本時の活動の結果を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 元のグループに戻り、本時自らの課題について調べたことを報告し、活動計画のチェックをグループ内で行える時間を設ける。 ○ 友達の発表を聞いて、自分の調べ活動に取り入れられることは、積極的に取り入れるよう助言する。 ○ 調べる際にどのような資料を活用したのかについても触れることで、資料が見つからず、活動が遅れがちな児童への手助けとする。 	

(第9時)

1 ねらい

現在の岡登用水や地域の様子などについて調べたことを見やすくまとめられる。

2 準備

○教師：史跡パンフレット、岡上景能及び岡登用水に関する資料、まんが「岡上景能公」、付せん、油性ペン

○児童：学習プリント、副読本、岡上景能及び岡登用水に関する資料、色鉛筆、学習ファイル

3 展開

進	時間	学習活動	支援及び留意点	評価項目 (評価方法)
つ か む	5 分	1 前時までの活動内容を確認し、本時の調べる内容及び計画を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習プリントを基に、前時の振り返りと本時の活動内容を確認し、計画的に追究活動が行われるように促す。 ○ 教師も事前に各自の学習プリントの記述内容を確認し、追究活動が遅れがちな児童に対して、資料を提示したり、効果的な調べ方を伝えたりすることで、活動の活性化を図る。 	
追 究 す る	30 分	2 自らの課題に基づいて、資料を収集したり、選択したりして、課題追究を行う。 3 追究した結果を付せんにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時はまとめる活動を主にするため、調べる活動は調べたことを整理したり、足りない部分を補ったりする程度にするよう伝えておく。 ○ 各自の学習プリントの記述内容を確認し、活動が効率的に進むように個々の状況に応じたコメントを書いておく。 ○ 活動場所は、原則として教室とし、どうしても必要な場合のみコンピュータ室、図書室を活用するよう伝える。 ○ まとめは、はり直しが容易に行えるため、大判の付せんを使用する。今回は過去の情報と区別するため、色の違う付せんを用いる。 ○ 付せんには、学習プリントに書いたこ 	<p>資 調べた結果を見やすく、分かりやすくまとめることができる。 (付せん)</p>

		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 岡登用水や岡上景能について調べたことを見やすくまとめましょう </div>	とを中心にまとめるよう助言する。 ○ まとめる際には、強調したいところに色をつけるなど大切なところが分かりやすくなるように促す。 ○ まとめ方は文章だけでなく、絵や表、グラフ、写真資料など視覚的に把握しやすい方法を取り入れるよう伝える。 ○ 写真資料については、教師がスキャナーで取り込み、加工する。	
まとめる	10分	4 グループで本時の活動の結果を発表する。	○ 本時の活動の結果を発表し、活動計画のチェックをグループ内で行う時間を設ける。 ○ まとめが完成しなかった児童は、次時までに仕上げておくように伝える。	

(第10時:見通し3にかかわる授業)

1 ねらい

地域マップに、調べて分かった情報を、グループで内容を考えながら重ね合わせ、過去と現在の情報のつながりについて気付くことができる。

2 準備

○教師：掲示用地域マップ、付せん、油性ペン

○児童：地域マップ、学習プリント、付せん、のり、学習ファイル

3 展開

避	時間	学習活動	支援及び留意点	評価項目 (評価方法)
つかむ	2分	1 これまでの学習内容を振り返り、本時の学習内容を知る。	○ 本時は、集めてきた情報を地域マップにそれぞれの内容と考えながらはりつけていくことを確認する。 ○ 事前に付せんへのまとめの記入状況を確認しておく。まとめの済んでいない児童には、本時までにまとめられるよう支援しておく。	
追究する	23分	2 グループで情報の内容と考えながら地域マップにそれぞれの情報をはりつける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 調べて分かったことを書かれている内容と考えながら地域マップにはりつけよう </div>	○ 情報を重ね合わせる際には、調べてきた情報の内容や位置をしっかりと全員で吟味して、場所を考えながらはりつけていくように説明する。 ○ 学習プリントにも、本時の活動の進め方を書いておき、いつでも児童が確認できるようにする。 ○ 今回は、既にはられている過去の情報とのかかわりも考えながら、なるべく内容が似ているものは近くにはりつけるように助言する。 ○ 用水の経路やため池の場所など調べた内容によっては、直接マップに油性ペンで書き込んでもよいことを伝える。 ○ 付せんなので、後ではり直しができるため、活動を進めていく過程で、話し合	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 資 調べた情報について、話し合いながら地域マップにはりつけることができる。 (地域マップ、話し合い) </div>

			<p>ってはる位置を変えても構わないことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の考えを深めるため、各グループを回り、その場所にはりつけた理由を質問する。 	
20分	<p>3 地域マップにはりつけた過去や現在の様々な情報から、過去と現在の結び付きや関係について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>地域マップを見て、岡登用水や岡上景能について分かったことをまとめよう</p> </div> <p>4 話し合いの結果分かったことや気付いたことを学習プリントに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 過去と現在の情報のはられた位置関係から、現在相互や過去と現在の情報の関連性について考えるよう伝える。 ○ 書かれている内容が似ているものは距離が近くなり、似ていないものは距離が離れていることを確認する。 ○ 現在と過去の情報は、別のものでなく、関係しあっていることをとらえられるように、地域マップの過去と現在の情報の位置を確認するよう促す。 ○ グループの話し合いの結果は、学習プリントに各自がしっかりと書いておくよう話しておく。 	<p>理 地域マップを基に、過去と現在の事象のかかわりに気付くことができる。 (学習プリント)</p>	

(第11時:見通し3にかかわる授業)

1 ねらい

今までの学習を振り返り、岡上景能の開発に込めた願いや思いを自分とのかかわりから考えることができる。

2 準備

○児童：地域マップ、学習プリント、学習ファイル

3 展開

進	時間	学習活動	支援及び留意点	評価項目 (評価方法)
つかむ	10分	<p>1 前時の話し合いの結果を発表しあう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>グループで話し合ったことを発表しよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時に話し合った結果を発表しあい、他のグループの考えを聞くことで、岡登用水や岡上景能と現在の自分たちの生活についての理解を深める。 	
追究する	20分	<p>2 他のグループの地域マップを見て、岡登用水や岡上景能についての理解を深める。</p> <p>3 岡上景能の用水開発にかけた思いや願いについて、自分とのかかわりから考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>今まで学習してきたことを思い出して、岡上景能はどんな願いをこめて岡登用水を開発したのか考えよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の学習の参考にするため、各グループの作成した地域マップは、事前に教室の壁面を活用して掲示しておく。 ○ 地域マップと学習プリントを見直すことで、今までの学習の過程を振り返れるようにする。 ○ 他のグループの発表で参考になるものは、進んで取り入れるように伝える。 ○ 岡上景能の用水開発に込めた思いや願いを自分や現在の地域の様子とのかかわりから考えるよう伝える。 ○ 岡上景能は、地域の人々の生活を改善するとともに、地域の発展を願って開発を進めてきたことに気付けるように、グループを回りながら助言を与えていく。 ○ 考えが深まらない児童は、再度学習プリントや各グループの地域マップを見 	<p>思 岡上景能の用水路開発に込めた願いを自分とのかかわりから考えることができる。 (学習プリント)</p>

見通し2で、情報相互の関連性についての考えを深める場面で活用した学習プリント

社会科学習プリント③

名前 ()

(6 地図にはりつけよう!)

☆ 今日の学習の進め方

- ① 調べて分かったことを発表しましょう。
- ② 地域マップに調べたことの内容を考えてはりつけましょう。
(どの場所のことか、何についてのことをグループで相談してはる位置を決めよう)
- ③ これをグループ全員が終わるまでくりかえしましょう。
- ④ 全員の紙がはり終わったら、もう一度はってあるものを見直してみましょう。

今日の授業で分かったこと、考えたことなどを書きましょう



(7 考えよう!)

☆ 調べたことがはられた地図を見て、岡登用水や岡上景能について考えよう

- 調べた内容がにているのは、どれでしょう。
(はられた場所や書かれている内容から考えましょう)



- ◎ グループで話し合っ、岡登用水と岡上景能について分かったことをまとめましょう。
(グループ全員の調べたことを入れてまとめられるといいですね)

- ◎ グループで話し合っ、岡登用水と岡上景能について分かったことをまとめましょう。
(グループ全員の調べたことを入れてまとめられるといいですね)

今日の授業で分かったこと、考えたことなどを書きましょう

見通し3で、先人の働きを自分とのかかわりから考えさせる場面で活用した学習プリント①

社会科学習プリント⑤

名前 ()

(10 地図にはりつけ、考えよう!)

☆ 今日の学習の進め方

- ① 調べて分かったことを発表しましょう。
- ② 地域マップに調べたことの内容を考えてはりつけましょう。
 - ・ どの場所のことか、何についてのことをグループで相談してはる位置を考えよう。
 - ・ 今までに地図にはられている紙に書かれている内容もよく読んで、はる位置を考えよう。
- ③ これをグループ全員が終わるまでくりかえしましょう。
- ④ 全員の紙がはり終わったら、もう一度はってあるものを見直してみましょう。
- ⑤ グループ全員できあがった地図を見て、岡登用水や岡上景能について話し合おう。
 - ・ むかしのことと今のことの間にあるひみつに気づけるといいね。

☆ 調べたことがはられた地図を見て、岡登用水や岡上景能について考えよう



- 昔のものと今のものを比べて、調べた内容がにているものを書きましょう。
(はられた場所や書かれている内容から考えましょう)

- ◎ グループで話し合っ、岡登用水や岡上景能とあなたが暮らす地域との結びつきについて分かったことをまとめましょう。
(グループ全員の調べたことを入れてまとめられるといいですね)

今日の授業で分かったこと、考えたことなどを書きましょう。

見通し3で、先人の働きを自分とのかかわりから考えさせる場面で活用した学習プリント②

社会科学習プリント⑥

名前 ()

(11 考えよう!)

- ☆ 岡上景能がどのような願いをこめて用水を開発したのか考えよう。
- ・ 地域マップをよく見て、むかしと今の結びつきから考えよう。
 - ・ 前の時間にグループでまとめたこともさんこうにしよう。



- ☆ 友達の発表を聞いて、「なるほど」と思ったことを書いておきましょう。

- ☆ 岡上景能が苦勞して開発を行ったことは、今のあなたの生活やあなたの暮らす地域にどのように役立っていますか。